

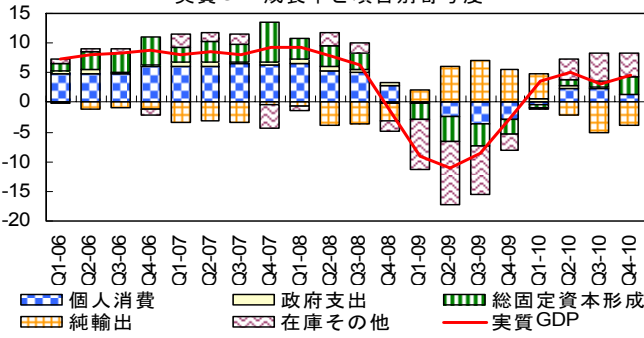
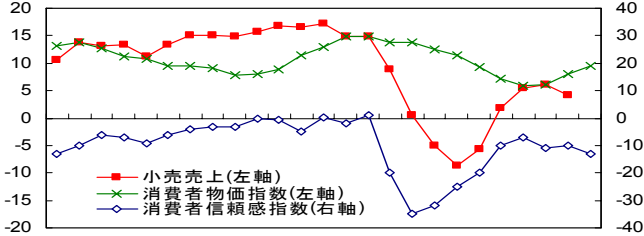
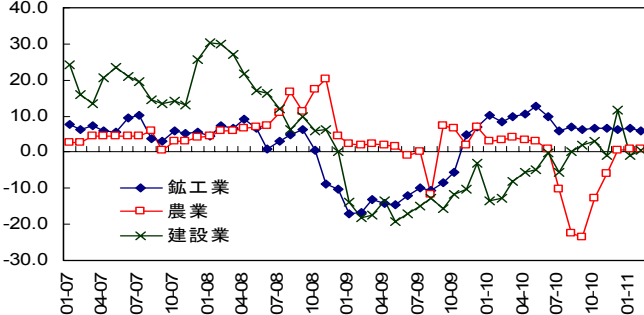
ロシア経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Russia)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp)

概況	消費・物価・金利
<p>2010 年第 4 四半期のロシアの実質 GDP 成長率は前年同期比 4.5%となり、早魃と森林火災の被害で成長が鈍化した第 3 四半期から成長が加速した。通年での実質 GDP 成長率は速報値から変わらず、前年比 4.0%となった。</p> <p>第 4 四半期の数値を需要項目別にみると、総固定資本形成が前年同期比+11.5%と大幅な伸びとなった。これは前年同期に同▲16.3%と大幅に落ち込んだことからの反動によるところが大きい。個人消費は同+2.7%と前期から伸びが鈍化した。食料品価格やガソリン価格の上昇によるインフレ圧力の高まり等が、個人消費を下押ししたものと考えられる。一方、純輸出は 3 期連続で全体の成長への寄与度がマイナスとなった。輸出が同+5.0%と低い伸びに留まった一方、輸入が前年の大幅な落ち込みからの反動で同+30.1%と高い伸びを示したことによる。</p> <p>生産側では、製造業が前年同期比+13.3%と強い伸びを示した。また建設業もベース効果によるところが大きいものの、同+6.1%と 2 年ぶりにプラスの伸びに転じた。一方、農業は同▲7.1%と、前期に引き続きマイナスの伸びとなった。</p> <p>(前年比、%) 実質GDP成長率と項目別寄与度</p>  <p>(資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>消費： 小売売上は 1 月、前年同月比+0.5%と伸びが鈍化したものの、2 月は同+3.3%と回復した。労働市場は改善の兆しが見えており、2 月の失業率は 7.6%と前月の 7.8%から若干改善している。また、雇用者数も前年同月比 2.2%増の 6950 万人となった。しかし、食料品価格と原油価格の上昇によるインフレ圧力の高まりにより、家計の可処分所得が減少していることから、ロシア統計局調べによる第 1 四半期の消費者信頼感指数は▲13.0 と前期から 3 ポイント悪化した。</p> <p>物価： 3 月の消費者物価指数は 2 月から横ばいとなり、前年同月比+9.5%となった。食料品価格は同+15.3%と前月から横ばいとなり、大幅な上昇が続いている。ガソリン価格は若干上昇幅が縮小し、同+8.9%となった。</p> <p>金利： ロシア中央銀行は 2 月 28 日、大方の市場予測に反し、政策金利であるリファイナンス金利を 25 ペーシスポイント引き上げ、8%とした。政策金利の引き上げは 2008 年 12 月以来であり、インフレ圧力上昇に対処したものの。しかし同時に、原油価格の高騰によるルーブル高や高金利により短期資本の流入が加速する可能性があり、これがさらなるルーブル高を招いてロシアの国際競争力を削ぐとの懸念から、1 月に引き続き、預金準備率も 2 ヶ月連続で引き上げた。中央銀行は 3 月 28 日にも再度、預金準備率の引き上げを実施した。一方、政策金利は据え置かれた。</p> <p>(前年比、%) 消費と信頼感、物価の推移</p>  <p>(資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p>生産</p> <p>2 月の鉱工業生産は前年同月比+5.8%と前月から伸びが鈍化し、直近 15 ヶ月で最も低い伸び率となった。部門別では製造業が同+10.2%と高い伸び率を維持した。特に自動車製造では同+112%と非常に強い伸びが続いている。電気・ガス部門は前年から横ばい、鉱業部門は同+3.2%となっている。</p> <p>3 月の製造業購買担当者指数 (PMI、HSBC 調べ) は 55.6 と、2006 年 8 月以降で最高の水準となり、製造業の好調さを示した。内訳をみると、新規受注指数の拡大が主因。海外需要の伸びが鈍化する一方で、国内需要がこれを上回る強い伸びを示している。また、雇用指数も拡大した。一方、購買価格の上昇率は鈍化しているものの、エネルギー価格等は高水準を続けていることなどを受け、出荷価格は直近 2 年半で 2 番目に高い伸び率を示した。</p> <p>(前年比、%) 生産の推移</p>  <p>(資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>国際収支</p> <p>2010 年通年の経常黒字は 711 億ドルとなり、前年の 486 億ドルから拡大した。海外需要の回復と原油価格の高騰により、貿易黒字幅が拡大したことが主因である。輸出は、特に主要輸出品目である石油関連が原油高を背景に前年比+38.7%と大幅に伸びたことを受けて、全体で同 31.9%増の 4001 億ドルに達した。一方、輸入も輸出の伸びには届かなかったものの、内需の復調で同 29.7%増の 2487 億ドルとなった。</p> <p>政府財政</p> <p>2010 年の政府財政赤字は、景気回復と原油価格の高騰による歳入増により、対 GDP 比で 2009 年の▲5.9%から▲4.1%に大幅に改善した。一方、2011 年の財政赤字目標は対 GDP 比▲3.6%に設定されている。これは実質 GDP 成長率が前年比 4.2%、原油価格が 1 バレル当たり 75 ドル (ウラルブレンド) で計算されている。しかし、原油価格は中近東・北アフリカ情勢の混乱等の影響も受けて、ロシア政府予測を大幅に上回る水準で推移していることから、2011 年の財政赤字は目標よりも改善する公算が高い。ただし、2011 年末の国会議員選挙と翌年 3 月の大統領選挙を控えていることから、歳出が目標以上に増加する可能性もある。なお政府は 2012 年予算の作成を進めているが、財政赤字目標は対 GDP 比▲2.8%となる予定 (原油価格を 1 バレル 78 ドルで設定)。</p>

ロシア経済・金融概況

1. 年、四半期

	2008	2009	2010	10/Q1	10/Q2	10/Q3	10/Q4	11/Q1
名目GDP実額 (10億米ドル)	1,658.6	1,222.1	1,479.4	320.7	350.3	384.8	422.2	-
実質GDP成長率 (y/y, %)	5.6	-7.8	4.0	3.1	5.2	2.7	4.5	-
(民間消費支出) (y/y, %)	10.8	-7.7	1.7	-0.5	4.7	5.1	2.7	-
(総固定資本形成) (y/y, %)	10.4	-15.7	0.8	-4.4	6.3	5.0	11.5	-
鉱工業生産(実質) (y/y, %)	2.6	-9.2	8.3	9.5	10.9	6.4	6.5	-
小売売上(実質) (y/y, %)	14.0	-4.7	4.3	1.7	5.4	6.1	4.2	-
銀行貸出伸び率(民間部門) (y/y, %)	37.5	1.7	14.5	-1.3	5.9	9.8	14.5	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	14.1	11.7	6.9	7.2	5.9	6.2	8.1	9.5
平均賃金上昇率(名目) (y/y, %)	27.4	9.1	12.8	11.8	13.0	12.5	13.7	-
失業率 (%)	6.4	8.4	7.5	8.8	7.4	6.8	6.9	-
貿易収支 (百万米ドル)	179,745	111,584	151,392	46,530	39,233	29,207	36,422	-
輸出額 (百万米ドル)	471,606	303,388	400,132	92,240	97,400	97,615	112,877	-
輸出伸び率 (y/y, %)	33.1	-35.7	31.9	61.1	43.0	18.4	18.1	-
輸入額 (百万米ドル)	291,861	191,804	248,740	45,710	58,167	68,408	76,455	-
輸入伸び率 (% y/y)	30.6	-34.3	29.7	18.8	32.4	39.5	26.7	-
経常収支 (百万米ドル)	103,530	48,604	71,129	33,295	18,037	5,692	14,105	-
資本収支 (百万米ドル)	-131,178	-43,502	-26,419	-11,146	8,951	-6,079	-18,145	-
対内直接投資 (百万米ドル)	75,002	36,500	41,194	8,091	11,282	7,072	14,749	-
外貨準備高 (百万米ドル)	411,750	416,649	443,586	423,318	432,991	458,315	443,586	-
対外債務残高 (10億ドル)	479.4	467.2	483.0	467.2	463.8	456.5	475.6	483.0
株価指数	18,487	12,788	17,819	17,400	17,346	17,110	19,401	21,487
短期金利 (Interbank 3m)	9.52	15.02	5.49	7.32	5.44	4.76	4.71	4.69
Rouble/USD	24.887	31.736	30.377	29.851	30.323	30.598	30.719	29.243
Rouble/Euro	36.456	44.109	40.274	41.301	38.550	39.555	41.696	40.015
Rouble/GBP	45.822	49.535	46.945	46.550	45.213	47.451	48.529	46.850
原油価格 (USDドル/バレル)	98.173	61.582	79.903	76.345	78.396	77.451	87.288	105.103

2. 月次

	10/08	9	10	11	12	11/01	2	3
鉱工業生産(実質) (y/y, %)	7.0	6.2	6.6	6.7	6.3	6.7	5.8	-
小売売上(実質) (y/y, %)	6.6	4.8	4.5	4.6	3.4	0.5	3.3	-
銀行貸出伸び率(民間部門) (y/y, %)	7.2	9.8	13.2	14.6	14.5	14.6	16.6	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	6.1	7.0	7.5	8.1	8.8	9.6	9.5	9.5
平均賃金上昇率(名目) (y/y, %)	13.2	11.5	11.6	11.8	16.8	9.1	10.9	-
失業率 (%)	6.9	6.6	6.8	6.7	7.2	7.8	7.6	-
貿易収支 (百万米ドル)	8,008	10,819	10,054	10,798	15,570	14,856	17,387	-
輸出額 (百万米ドル)	31,840	34,361	34,721	35,504	42,652	30,896	39,017	-
輸出伸び率 (y/y, %)	16.5	19.5	14.0	15.1	24.6	11.6	27.7	-
輸入額 (百万米ドル)	23,832	23,542	24,667	24,706	27,082	16,040	21,630	-
輸入伸び率 (y/y, %)	53.3	33.7	27.6	27.4	25.2	41.0	39.3	-
株価指数	17,128	17,644	18,398	19,137	20,569	21,347	21,392	21,697
短期金利 (Interbank 3m)	4.747	4.663	4.601	4.687	4.843	4.744	4.691	4.643
Rouble/USD	30.389	30.793	30.310	31.024	30.801	30.140	29.255	28.414
Rouble/Euro	39.191	40.316	42.129	42.319	40.704	40.285	39.938	39.835
Rouble/GBP	47.557	47.968	48.078	49.510	48.003	47.553	47.187	45.914
原油価格 (USDドル/バレル)	78.101	78.428	83.530	85.689	92.249	97.350	103.146	113.885

(注) 貿易の値は国際収支から採用。ハイライトは速報値。

(資料) ロシア中央銀行、ロシア統計局、IMF、他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しく願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。